

ホームアプライアンス・ オープンイノベーションシンポジウム(第2回)



ECHONET

一般社団法人エコーネットコンソーシアム
代表理事 平松 勝彦



エコーネットコンソーシアムとは

一般社団法人エコーネットコンソーシアムは
IoT時代の家電・設備機器等を連携させる通信規格
ECHONET Lite を推進する団体です



- 会員構成 * 全285会員 2019年12月3日現在
- 幹事会員企業 : 標準規格策定, コンソーシアムの運営, 普及活動推進
7社(シャープ, 東京電力ホールディングス, 東芝, 日本電信電話,
日立製作所, パナソニック, 三菱電機), および準会員43社
- 一般会員企業 : 標準規格策定支援, 対応製品, サービス開発
165社および, 一般準会員38社
- 学会会員 : 標準規格策定・普及支援 32会員



エコネットの歩み

1997年12月～2011年6月

2011年6月～2018年12月

1997年
コンソーシアム
創立

ECHONET規格の
策定と普及活動

ECHONET Lite規格そしてAIF仕様の
策定と普及のための活動

<ECHONET 1.0>

2000
ECHONET規格
Ver.1.00 公開

2002
Ver.2.00
公開

2005
Ver.3.00
公開

2011
Ver.4.00
公開

2011/06
ECHONET Lite
Ver.1.00 公開

2015/10
ECHONET Lite
Ver.1.12 公開

2016～
ECHONET Lite AIF
第三者認証開始

2008～
ECHONET 国際標準化

2012/2
ECHONET Lite
HEMS標準I/Fに推奨

2014～
ECHONET Lite搭載
スマートメータ設置開始

2002～ 各社から
ECHONET対応
家電発売

次世代の家電として
ネットワーク家電が注目

電力安定供給の
ためのHEMSに
注目が集まる

2012～
ECHONET Lite
国際標準化



会員数の遷移

1997年12月～2011年6月

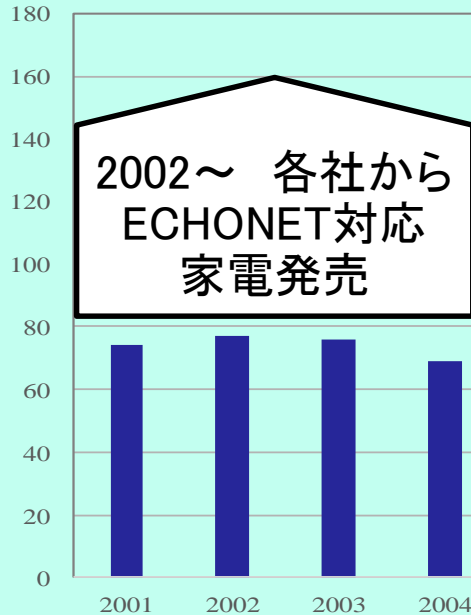
2011年6月～2018年12月

1997年
コンソーシアム
創立

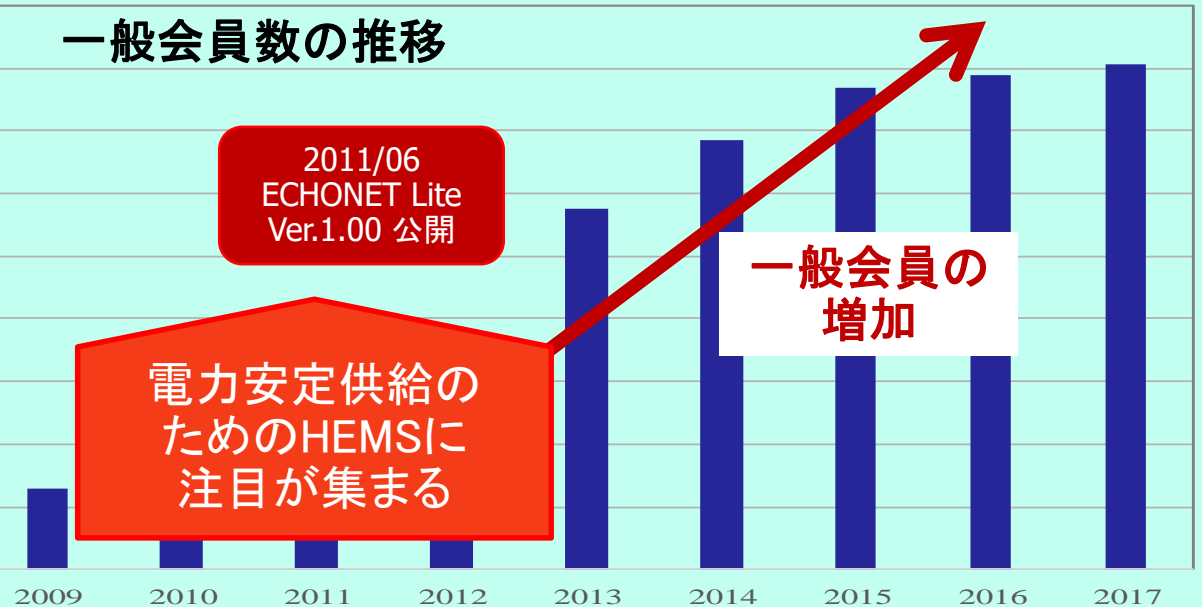
ECHONET規格の
策定と普及活動

ECHONET Lite規格そしてAIF仕様の
策定と普及のための活動

<ECHONET 1.0>



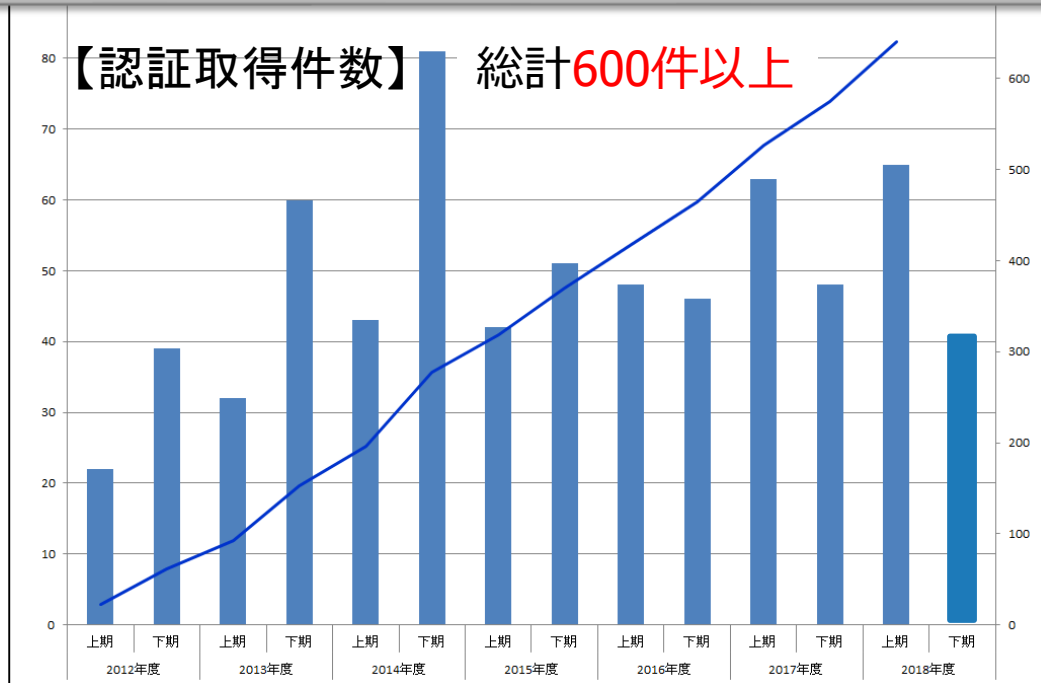
一般会員数の推移



【2012年以降の ECHONET Lite 認証機器の出荷台数】

認証取得した ECHONET Lite 機器: **2,400万台以上** (機器の数: 500種類以上)

Bルートを搭載したスマートメータ: **5,100万台以上**



【スマートメータを除く毎年の出荷状況】

2013年度	1,104,414 台
2014年度	2,082,234 台
2015年度	2,639,749 台
2016年度	4,053,476 台
2017年度	7,524,332 台
2018年度	7,358,820 台

【2018年度 主な機器の出荷数】

エアコン: 591.9万台

給湯機: 37.4万台

コントローラ: 8.8万台

● ホームアプライアンス・オープンイノベーションシンポジウム ～ECHONET2.0が描く未来～

- 日時 : 2018.12.28 (火) 15:00～18:05
- 場所 : 慶応義塾大学 (三田キャンパス) 東館6階G-Lab
- 来場者数 : 128名
- 基調講演 : 「新たなインターネット世界: IoTイノベーションの本質」
 - … 慶應義塾大学サイバー文明研究センター共同センター長 Dr.David Farber
- パネルディスカッション
 - ・ テーマ : 「アジア発のIoTイノベーション。そのアクションプラン」
 - ・ モデレータ : 梅嶋 真樹様 (慶應義塾大学サイバー文明研究センター所員・大学院特任准教授)
 - ・ パネラー : Dr.David Farber (慶應義塾大学サイバー文明研究センター共同センター長)
一色 正男様 (神奈川工科大学創造工学部ホームエレクトロニクス開発学科 教授)
松田 洋平 (経済産業省 商務情報政策局 情報経済課長)
Mr. Richard Schomberg (IEC Smart Energy Ambassador EDF VP Smart Energy Standards)
Dr.Sureswaran Ramadass (Chairman -ECHONET Consortium Malaysia Professor - Malaysia University of Science and Technology(MUST))
- 平松 勝彦 (エコネットコンソーシアム 代表理事)
- 宮崎 達三 (エコネットコンソーシアム 戦略構築WG主査)



ECHONET 2.0における目指す姿

ECHONET Lite実装機器: **1億台** (～2020年) → 業務用機器への適用拡大も含む
機器オブジェクトの定義: **200機種** (～2025年) → ヘルスケアなどの新サービスへの対応
ホームコントローラを**全世帯導入** (～2030年) → Society 5.0への貢献

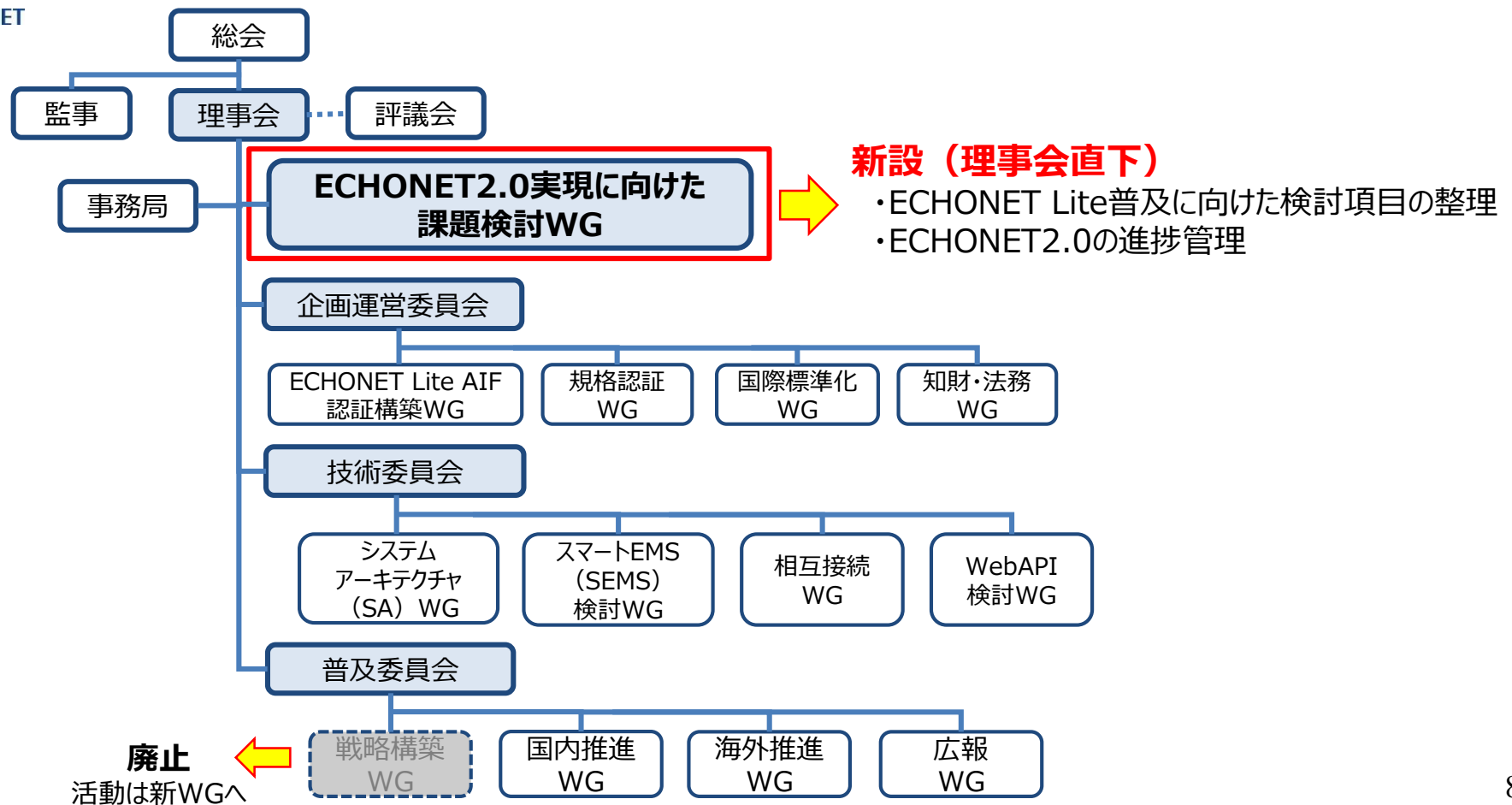
エコーネットライト2030年までのロードマップ

すべての家庭が便利で快適に暮らせる

社会の実現のためにECHONET Liteの普及を進めてまいります。



2019年度 コンソーシアム組織体制



IoT社会／Society 5.0の実現に貢献するため
「ECHONET 2.0」を推進します。

引き続き、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



ご清聴ありがとうございました